

さいたま市水道事業中期経営計画 (2021-2025)

2022年度評価結果

1 概要

水道局では、水道事業としての将来像、基本理念、基本施策を示した「さいたま市水道事業長期構想(2021-2030)」を策定しました。この長期構想を実現するために、特に重点的に取り組むべき「主要事業」及び「投資・財政計画」を定めた事業運営の方針として、「さいたま市水道事業中期経営計画(2021-2025)」を策定し、持続可能な水道事業に取り組んでいます。

中期経営計画では、5年を一つの期間として事業の計画的な実施及び進行管理を行い、毎年度その進捗や評価を公表することとしています。

当評価結果は、5年の期間のうち、2年目となる令和4年度の水道局「主要事業」と「投資・財政計画」の取組について、その結果及び評価を取りまとめて報告するものです。

2 主要事業の達成状況

主要事業の評価方法については、定量的な目標指標(数値で測れる場合)は目標値に対しての実績値の比率で算出し、定性的な目標指標(数値で測れない場合)は目標(計画)に対しての進捗等により数値化します。

2022年度評価については、A評価が3件、B評価が18件、C評価が0件であり、全体として順調に事業が進んでいます。

評価		達成率	件数
A	予定より進んでいる、大幅に上回っている	110%以上	3
B	概ね計画通り、順調に推移	90%以上 110%未満	18
C	大幅な遅れ、計画未達成	90%未満	0
合計			21

5 - 1 【安全】 安全な水道水の供給（5 事業）

主要事業名	5-1-1	深井戸の維持管理の推進						
目的	深井戸*の維持管理を行い、災害時や渇水時などの非常時にも必要な地下水源量を確保します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	南下新井配水場第3号取水井及び東浦和浄水場第2号取水井の機能診断業務を実施しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	深井戸の維持管理 実施か所数	B	目標値	2か所	2か所	2か所	2か所	3か所
			実績値	2か所	2か所	—	—	—
今後の取組	引き続き適切な維持管理を行い、必要な地下水源量の確保に努めていきます。							

*深井戸：水を通しにくい地層の下にある地下水を取水する井戸。

主要事業名	5-1-2	水質検査の精度及び信頼性向上						
目的	水道GLP ^{*1} を維持し、水質検査結果の精度と信頼性の向上を図り、安全な水道水を供給します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	(1)水道GLPについて認定を維持しています。 (2) 水質検査計画に沿って水質検査を実施し、水質基準達成の確認を行いました。 (3) 水質検査結果をホームページにて12回公表しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	水道GLPの認定維持	B	目標値	維持	維持	維持	維持	維持
			実績値	維持	維持	—	—	—
(2)	水質基準項目における 水質基準達成率	B	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
			実績値 ^{*2}	100% (51項目)	100% (51項目)	—	—	—
(3)	水質検査結果の公表	B	目標値	12回	12回	12回	12回	12回
			実績値	12回	12回	—	—	—
今後の取組	研修による知識技術の習得、精度管理による検査精度の確認を行い検査技術の向上を図ります。また、水質検査計画に基づき行った検査結果をホームページに公表します。							

*1水道GLP：Good Laboratory Practice（水道水質検査優良試験所規範）の略。（公社）日本水道協会による認定制度。

*2目標指標(2) 実績値の（）内は水質基準項目数

主要事業名	5-1-3	貯水槽管理意識の向上						
目的	貯水槽水道の管理意識を向上させ、毎年1回以上の清掃・点検を実施するように促すことで、安全な水道水を確保します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	<p>(1) 中央・桜・浦和・南・緑区の貯水槽水道全件（閉栓中等を除く）を対象に管理啓発文書を3,995通送付しました。また、ホームページで貯水槽水道の管理の必要性について周知を行いました。</p> <p>(2) 対象1,888件に対して、1,418件の点検（訪問点検579件、自主点検839件）を実施しました。</p>					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	啓発文書の送付率	B	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
			実績値 ^{*1}	100% (3,470通)	100% (3,995通)	—	—	—
(2)	小規模貯水槽点検率 ^{*2}	B	目標値	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%
			実績値	79.4%	75.1%	—	—	—
今後の取組		<p>(1) 令和5年度は、西・北・大宮・見沼・岩槻区の貯水槽水道を対象に、管理啓発文書を送付します。</p> <p>(2) 貯水槽水道の設置者又は管理者に対して小規模貯水槽訪問点検の案内を送付し、希望のあったものについて訪問点検を実施します。また、希望・回答のないものについて、定期的な清掃の有無や管理の状況を確認します。</p>						

^{*1}目標指標(1) 実績値の（）内は啓発文書の発送数

^{*2}目標指標(2) 点検率は訪問点検及び自主点検の合計値

主要事業名	5-1-4	給水の直結化の推進						
目的	給水栓までの水質維持を推進し、安全な水道水を供給します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	広報活動につきましては、水道局ホームページの更新、広報誌「水と生活」及び小冊子「ホームメモ水道」への掲載に取り組みました。また、直結給水率は75.7%となりました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	直結給水についての 広報活動回数	B	目標値	3回	3回	3回	3回	3回
			実績値	3回	3回	—	—	—
(2)	直結給水率 (PI:A204)	B	目標値	74.8%	75.0%	75.2%	75.4%	75.6%
			実績値	75.4%	75.7%	—	—	—
今後の取組	計画的に広報活動を実施し、直結給水率の向上を目指します。							

主要事業名	5-1-5	水質劣化防止対策の推進						
目的	配水管内の排水作業によって適正な水質を維持し、安全な水道水を供給します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	配水管洗浄作業を15回実施し、配水管内排水作業46箇所については計画的に実施しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	配水管内洗浄作業の 実施回数	B	目標値	15回	15回	15回	15回	15回
			実績値	15回	15回	—	—	—
(2)	配水管内排水作業の 実施か所数	B	目標値	46か所	46か所	46か所	46か所	46か所
			実績値	46か所	46か所	—	—	—
今後の取組	毎年度、配水管洗浄作業を15回実施し、配水管内排水作業は計画的に46箇所の実施を予定しています。							

5-2 【安定】常に安定した水道水の供給（4事業）

主要事業名		5-2-1	漏水防止対策の推進					
目的		効果的な漏水調査を実施し、漏水の早期発見と迅速な修繕を推進することで、必要な量の水道水を安定して供給します。						
評価	B	令和4年度の 取組実績		配水幹線の漏水調査を171km、配水支管の漏水調査を1,202km実施しました。また、軌道及び主要道路や河川の横断箇所においても、計画的に漏水調査を行いました。				
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	配水本管等の点検及び漏水調査の達成率	B	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
			実績値	100%	100%	—	—	—
(2)	有効率 (PI:B111)	B	目標値	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%	98.0%
			実績値	97.4%	97.3%	—	—	—
今後の取組		令和5年度は計画的な漏水調査を配水幹線172km、配水支管1,206kmにおいて予定しています。						

主要事業名		5-2-2	配水支管整備の推進					
目的		給水管における漏水多発や出水不良を解消し、水道水を安定して供給します。						
評価	B	令和4年度の 取組実績		整備要望路線の工事を順次実施しました。				
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	整備要望の2年以内の整備率	B	目標値	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上
			実績値	100%	100%	—	—	—
今後の取組		今後も整備要望路線の2年以内の整備率90%以上の達成を目指し、水道水の安定供給に努めます。						

主要事業名	5-2-3	浄・配水場の更新の推進						
目的	浄水場や配水場の施設・設備の更新を行い、配水機能の安定性の向上を図り、水道水を安定して供給します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	東部配水場の自家発電設備更新工事が完了し、南下新井配水場の自家発電設備工事を実施しています。また、東浦和浄水場の実施方針の検討を実施しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	自家発電設備の更新	B	目標値	東部配水場 (施工) 南下新井配水場 (設計)	東部配水場 (完了) 南下新井配水場 (施工)	南下新井配水場 (完了)	—	—
			実績値	東部配水場 (施工) 南下新井配水場 (設計)	東部配水場 (完了) 南下新井配水場 (施工)	—	—	—
(2)	配水ポンプの更新	—	目標値	—	—	新都心配水場 (設計)	新都心配水場 (施工)	新都心配水場 (完了)
			実績値	—	—	—	—	—
(3)	東浦和浄水場の更新	B	目標値	民間活力の導入 可能性調査	実施方針の 検討	実施方針の 策定	事業着手(設 計・施工)	事業実施(設 計・施工)
			実績値	民間活力の導入 可能性調査	実施方針の 検討	—	—	—
今後の取組	令和5年度も浄・配水場の施設・設備の更新を計画的に実施し、配水機能の安定性の向上を図っていきます。							

主要事業名	5-2-4	老朽管更新の推進						
目的	老朽化した管路を計画的に更新し、水道水を安定して供給します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	管路延長約40,600mの老朽管更新工事を実施しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	管路の更新率 (PI:B504)	A	目標値	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0% (5年間で5%)
			実績値	0.93%	1.12%	—	—	—
(2)	管路の耐震管率 (PI:B605)	B	目標値	51.9%	53.0%	54.1%	55.2%	56.3%
			実績値	51.9%	53.1%	—	—	—
今後の取組	老朽管の更新工事を計画的に実施し、管路の更新率1.0%以上の達成を目指します。							

5 - 3 【災害対策】 災害・事故対策の推進（4事業）

主要事業名		5-3-1	配水場の耐震化の推進					
目的		耐震化対策を行い、大規模地震による水道施設の被害を最小限に抑えます。						
評価	B	令和4年度の 取組実績		北部配水場更新工事を継続的に実施しました。				
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	北部配水場更新工事	B	目標値	1期工事(新設・耐震化工事)の実施	1期工事(新設・耐震化工事)の実施	1期工事(新設・耐震化工事)の実施	1期工事(新設・耐震化工事)の実施	2期工事(既存施設の撤去)の実施
			実績値	1期工事(新設・耐震化工事)の実施	1期工事(新設・耐震化工事)の実施	—	—	—
(2)	配水池の耐震化率 (PI:B604)	B	目標値	70.8%	70.8%	70.8%	78.8%	78.8%
			実績値	70.8%	71.5%	—	—	—
今後の取組		北部配水場の更新工事を計画的に実施し、配水池の耐震化率向上を目指します。						

主要事業名		5-3-2	応急活動の推進					
目的		応急給水場所を円滑に開設することで、災害時の応急給水を確保します。						
評価	B	令和4年度の 取組実績		令和4年5月に応急給水に関する訓練を3回実施し、計43人が参加しました。				
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	訓練回数	A	目標値	2回	2回	2回	2回	2回
			実績値	3回	3回	—	—	—
(2)	訓練参加人数	B	目標値	40人	40人	40人	40人	40人
			実績値	49人	43人	—	—	—
今後の取組		災害発生時において、迅速な応急給水活動が行えるよう、継続して訓練を実施します。						

主要事業名	5-3-3	水道局危機対応集の更新						
目的	実践的なマニュアルを整備し、職員が習得することで、災害時の応急給水の確保や早急な管路復旧を行います。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	令和4年度末に危機対応集の更新を行いました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	危機対応集の更新回数	B	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
			実績値	1回	1回	—	—	—
(2)	改訂検討部会の開催回数	—	目標値	3回	—	—	—	—
			実績値	3回	—	—	—	—
今後の取組	災害等の発生時に迅速かつ的確な判断と行動ができるように、随時見直し及び更新を行います。							

主要事業名	5-3-4	協定に基づく災害対応体制の連携						
目的	災害に関する協定事業者との円滑な連携を図り、災害時の応急給水を確保します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	令和4年11月に協定業者10名が参加した合同防災訓練を実施しました。また、訓練後のアンケートでは95%の理解度を得ることができました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	合同訓練の回数	B	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
			実績値	1回	1回	—	—	—
(2)	協定事業者の訓練参加人数	B	目標値	10人	10人	10人	10人	10人
			実績値	10人	10人	—	—	—
(3)	応急給水手順の理解度（協定事業者の参加者）	A	目標値	80%	80%	80%	80%	80%
			実績値	93%	95%	—	—	—
今後の取組	実際の災害では訓練以上のことはできないため、継続して訓練を実施します。							

5-4 【サービス】お客さまサービスの充実（4事業）

主要事業名	5-4-1	オンライン手続の拡充						
目的	水道使用に関する手続について、オンライン化を拡充し、利便性を向上します。							
評価	A	令和4年度の 取組実績	WEB口座振替システムや電子申請を活用し、新たに3項目の手続きをオンライン化しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	オンライン手続項目 数	A	目標値	2項目	2項目	6項目	6項目	6項目
			実績値	2項目	5項目	—	—	—
(2)	問合せにおけるオン ライン利用率	A	目標値	6%	6%	8%	9%	10%
			実績値*	11.2% (24,010件)	12.2% (29,206件)	—	—	—
今後の取組	令和5年度については、還付手続きについてオンライン化を目指します。							

*目標指標(2) 実績値の () 内はオンライン申請の件数

主要事業名	5-4-2	水道管管理図の電子閲覧の導入						
目的	水道管管理図の電子情報をホームページに掲載し、水道管管理図の情報提供を推進します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	水道管管理図を地理情報システムへ搭載する委託業務を契約し、実施しました。 また、電子閲覧に伴うID・パスワード管理について、検討会議を行い運用管理の方針を決定しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	水道管管理図の電子 閲覧への取組	B	目標値	実施方針の 策定	運用体制の 構築	電子閲覧の 開始	・更新 ・精査、見直し	・更新 ・精査、見直し
			実績値	実施方針の 策定	運用体制の 構築	—	—	—
今後の取組	これまでの検討会議において抽出・検討した課題を踏まえ、水道管管理図の電子閲覧を開始します。また、開始後はデータ更新及び運用状況の精査、必要に応じた見直しについても実施します。							

主要事業名	5-4-3	電話受付センターに関する情報提供の推進						
目的	お客さまのニーズを踏まえた電話受付センターの対応体制を充実させ、情報提供を推進します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	電話受付センターの稼働状況について、ホームページにて12回公開しました。また、令和5年3月に受付センターの稼働日に関して分析し、その報告を行いました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	電話受付センターの稼働状況の公開回数	B	目標値	12回	12回	12回	12回	12回
			実績値	12回	12回	—	—	—
(2)	対応履歴の分析内容の報告回数	B	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
			実績値	1回	1回	—	—	—
(3)	電話受付センターの毎時応答率(80%)の達成率	B	目標値	91.8%	92.0%	92.5%	93.0%	93.0%
			実績値	99.4%	99.6%	—	—	—
今後の取組	令和5年度は、テキストデータからテキストマイニングの手法を活用し、より効果的な分析を行い、情報提供を推進します。							

主要事業名	5-4-4	双方向コミュニケーションの充実						
目的	見やすくわかりやすいホームページを作成し、市民の声を反映させます。							
評価	A	令和4年度の 取組実績	令和4年4月、8月、12月発行の広報紙にて市民アンケート調査を3回実施し、令和5年4月号に特集ページを掲載しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	市民アンケート調査の回数	B	目標値	3回	3回	3回	3回	3回
			実績値	3回	3回	—	—	—
(2)	広報紙の特集ページへの掲載回数	B	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
			実績値	1回	1回	—	—	—
(3)	インターネットによる情報の提供度(PI:C402)	A	目標値	460回	480回	500回	520回	540回
			実績値	589回	704回	—	—	—
今後の取組	今後も市民の声を反映した見やすくわかりやすい広報紙やホームページを作成します。							

5-5 【基盤強化】 経営基盤の強化（4事業）

主要事業名	5-5-1	水道施設の再構築の推進						
目的	将来の水需要を見据えた施設能力の見直し、統廃合及び長寿命化等により、その最適化を図り、水道施設の老朽化へ適切に対応しながら、整備費用を縮減します。							
評価	B	令和4年度の取組実績	老朽管更新工事及び北部配水場更新工事を計画的に実施しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	管路の耐震管率 (PI:B605)	B	目標値	51.9%	53.0%	54.1%	55.2%	56.3%
			実績値	51.9%	53.1%	—	—	—
(2)	配水池の耐震化率 (PI:B604)	B	目標値	70.8%	70.8%	70.8%	78.8%	78.8%
			実績値	70.8%	71.5%	—	—	—
今後の取組	老朽管更新工事及び北部配水場の更新工事を計画的に実施し、管路の耐震化率、配水池の耐震化率の向上を目指します。							

主要事業名	5-5-2	人材育成・技術継承の推進						
目的	効果的に知識・技術を継承することで、水道局職員の能力開発を行い、生産性を向上させます。							
評価	A	令和4年度の取組実績	ナレッジバンクシステムの運用を開始しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	人材開発計画（人・水・未来計画）の改訂・運用	B	目標値	改訂準備（2年目）	計画改訂	人材育成方法の改善	人材育成方法の改善	人材育成方法の改善
			実績値	計画改訂	人材育成方法の改善	—	—	—
(2)	ナレッジバンクへのアクセス数	A	目標値	—	300回以上	300回以上	300回以上	300回以上
			実績値	—	458回	—	—	—
(3)	水道技術に関する資格取得度 (PI:C201)	B	目標値	1.58 件/人	1.61 件/人	1.64 件/人	1.67 件/人	1.70 件/人
			実績値	1.56 件/人	1.62 件/人	—	—	—
今後の取組	ナレッジバンクシステムに登録された資料の更新等を促すことにより、自己研鑽する環境を整備します。							

主要事業名	5-5-3	スマートメーターの試験的導入						
目的	スマートメーターを試験的に導入し、検針手段を確保します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	検針困難箇所の調査及びスマートメーターの試験的導入に向け関係機関と調整し、スマートメーター実証実験基本計画書を作成しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	スマートメーター設置への取組	B	目標値	設置ニーズ報告書の作成	設置箇所選定報告書の作成	実施計画書の作成	スマートメーター設置	報告書の作成
			実績値	設置ニーズ報告書の作成	基本計画書の作成	—	—	—
(2)	検針困難箇所におけるスマートメーター検針の費用対効果	—	目標値	—	—	—	—	100%以上
			実績値	—	—	—	—	—
今後の取組	令和5年度は、基本計画書をもとに、検針困難箇所へスマートメーターを設置するとともに、美園地区へのスマートメーター設置について検討を進めます。							

主要事業名	5-5-4	委託業務の品質管理の充実						
目的	水道の受付や検針・収納業務等の委託業務における業務品質を維持・向上します。							
評価	B	令和4年度の 取組実績	改善のためのフィードバック会議を4回実施しました。また、令和5年3月に各モニタリング指標を分析したモニタリング改善報告書を作成しました。					
事業の目標指標		達成度	分類	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(最終)
(1)	改善のためのフィードバック会議の実施回数	B	目標値	4回	4回	4回	4回	4回
			実績値	4回	4回	—	—	—
(2)	モニタリング改善の報告回数	B	目標値	1回	1回	1回	1回	1回
			実績値	1回	1回	—	—	—
(3)	電話受付センターの毎時応答率(80%)の達成率	B	目標値	91.8%	92.0%	92.5%	93.0%	93.0%
			実績値	99.4%	99.6%	—	—	—
今後の取組	令和5年度は、新たな基準を整理するとともに、受託者のセルフチェック項目などを整理します。							

3 投資・財政計画の達成状況

投資・財政計画では、経営基盤強化の取組として、「水道施設の再構築の推進」について1つの成果指標、「財政基盤の健全化の推進」について1つの成果指標と2つの目標指標を定めています。令和3年度については、全ての指標が目標を達成しており、経営基盤強化の取組は順調に推移しています。

(1) 水道施設の再構築の推進

指標	分類	R3	R4	R5	R6	R7
【成果指標】 水道管路の耐震化率(%) (↑) *1	目標	51.9	53.0	54.1	55.2	56.3
	実績	51.9	53.1	—	—	—

(2) 財政基盤の健全化の推進

指標	分類	R3	R4	R5	R6	R7
【成果指標】 経常収支比率(%) (↑) *1	目標	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上	110 以上
	実績	120.9	117.2	—	—	—
【目標指標】 給水収益に対する元利償還金の割合 (%) (↓) *2	目標	20.6	19.9	19.0	17.7	16.7
	実績	20.2	19.4	—	—	—
【目標指標】 自己資本構成比率(%) (↑) *1	目標	76.1	75.9	75.2	74.6	74.1
	実績	77.8	77.7	—	—	—

*1 (↑) は数値が高いほど望ましい指標

*2 (↓) は数値が低いほど望ましい指標

4 今後の事業推進について

令和4年度の水道事業は、主要21事業が全て順調に推移しており、投資・財政計画における指標も全て目標を達成しています。

令和5年度以降も引き続き、主要事業の進行管理を適切に実施し、投資・財政計画に係る指標の推移にも注視しながら、事業を着実に推進していきます。